

日本大気電気学会第102回研究発表会 プログラム

共催：神戸市立工業高等専門学校



日程： 2024年 1月6日（土）、7日（日）
会場： 神戸市立工業高等専門学校本部棟ホール
〒651-2102 兵庫県神戸市西区学園東町8丁目3
連絡先： 中村佳敬（神戸市立高専）
Tel: 078-795-3231、E-mail: yoshi@kobe-kosen.ac.jp

日 程 表

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
1月6日 (土)		雷 気象 I	大気 電場	昼食	ポスター I	総会	懇親会				
1月7日 (日)		雷 気象 II	ポスタ ー II	昼食	雷 気象 III	ポスタ ー III					

注：発表者は○印で示され、学生(学部生、大学院生)の時には下線が付してあります。

第1日 1月6日(土): 本部棟ホール

セッション 1 雷・気象 I
座長 菊池博史 (電通大)

09:30 -10:30

1. ○藤原博伸(NPO 法人富士山環境研究センター), 大河内博(早稲田大), 鴨川仁(静岡県立大), 林修吾(気象研)
都市型局地的豪雨での雷活動と大気化学的分析
2. ○成田知己(湘工大)
Blitzortung データを用いた世界の冬季雷分布に関する一考察
3. ○鴨川仁(静岡県大)
雷日数データと雷放電位置評定データの比較

休憩

10:30-11:00

セッション 2 大気電場
座長 王道洪(岐阜大)

11:00 -12:00

4. ○鴨川仁(静岡県大), 山崎政彦, 本山真, 大谷響心, 曾根風紗(日大理工), 藤原博伸(NPO 法人富士山環境研究センター)
ドローンを利用した電離圏電位計測の可能性
5. ○山下幸三(公立小松大), 藤坂浩史(藤坂技術事務所), 岩崎博之(群馬大), 王道洪(岐阜大), 山本和男(中部大)
雷電荷量算出を目的とした冬季北陸域への静電界センサー網展開
6. ○佐藤光輝, 佐藤陽祐, 稲津将(北大), 長尾篤, 山下由美子, 栢田俊久, 中村尚倫, 池田高志(NTT)
高崎市周辺での多点同時静電界観測に基づく雷放電中和電荷量と位置の推定

昼食

12:00-13:30

ポスターセッション P1
座長 森本健志(近畿大)

13:30-15:00

7. ○中尾虎之介, 和田有希, 北原大地, 井口俊夫(阪大), 菊池博史(電通大), 牛尾知雄(阪大)
神戸 MP-PAWR を用いた二重偏波観測による降水量推定
8. ○田中駿之助(M2), 北原大地, 和田有希, 牛尾知雄(阪大), Philippe Baron(NICT)
三次元深層ナウキャスト手法の ROC 及び PR 曲線による性能評価
9. ○日野史敬(M2), 北原大地, 和田有希, 井口俊夫, 牛尾知雄(阪大), 吉川栄一(JAXA)
混合ガウス型スペクトルモデルに基づいた二重偏波気象レーダシミュレータ

10. ○後藤翼(M2), 菊池博史, 芳原容英 (電通大), 牛尾知雄 (阪大)
気象用二重偏波フェーズドアレイレーダデータと CNN 及び LSTM による豪雨予測
11. ○高田裕佳(M2), 和田有希, 北原大地 (阪大), 菊池博史 (電通大), 牛尾知雄 (阪大)
フェーズドアレイレーダの実観測データを用いたビームフォーミング手法の比較
12. ○田中皓貴(M2), 北原大地, 和田有希, 牛尾知雄 (阪大)
画像処理技術を利用した複数レーダのデータ融合の有用性
13. ○湯浅公也(専攻科1年), 中村佳敬 (神戸高専), 菊池博史 (電通大), 和田有希, 牛尾知雄 (阪大)
阪大 MP-PAWR で観測した 2023 年 8 月 26 日の積乱雲の発達

休 憩

15 : 00-15 : 20

総 会 : 15 : 20 - 16 : 20

懇親会 : 16 : 40 - 18 : 50

神戸市外国語大学三木記念会館 (会場から徒歩約 15 分)
〒651-2102 兵庫県神戸市西区学園東町 9-1

第2日 1月7日(日): 本部棟ホール

セッション 1 雷・気象Ⅱ

09:30 -10:30

座長 吉田智 (気象研)

14. ○秋田学, 稲葉敬之 (電通大), 森本健志 (近畿大), Mohd Riduan Ahmad (Universiti Teknikal Malaysia Melaka), Zafri Baharuddin (Universiti Tenaga Nasional)
広帯域干渉計における最尤推定に基づく電磁波源標定法
15. ○M. H. M. Sabri, M. R. Ahmad (Universiti Teknikal Malaysia Melaka), Y. Takayanagi, T. Morimoto (Kindai Univ.), Z-I. Kawasaki (Osaka Univ.), M. Z. Baharuddin (Universiti Tenaga Nasional), M. Abdullah (Universiti Kebangsaan Malaysia)
Positive cloud-to-ground flashes from tropical thunderstorms in Malaysia
16. ○Alexander Shvets (電通大, Usikov Inst. for Radiophysics and Electronics, Ukraine), 芳原容英 (電通大), 早川正士 (早川地震電磁気研究所), Alisa Shvets (Usikov Inst. for Radiophysics and Electronics, Ukraine), Oleksandr Koloskov (University of New Brunswick, Canada), Yury Yampolsky (Inst. of Radio Astronomy)
Effects of anomalous lightning activity in the electromagnetic fields of the VLF and ELF ranges during the eruption of the Tonga volcano on January 15, 2022

休憩

10:30-10:50

ポスターセッション P2

10:50-12:20

座長 服部克巳 (千葉大)

17. ○北出明嗣 (M2), 吉野千恵, 金子柊, 服部克巳 (千葉大)
ひまわり8号 AHI データを用いた溶岩噴出前の地表面温度変化の検知
18. ○福永しおり (M1), 金子柊, 北出明嗣, 太田悠一朗, 吉野千恵 (千葉大), 小西敏春 (応用光研工業株式会社), 宮川友伸 (応用光研工業株式会社), 服部克巳 (千葉大)
地中ラドンフラックスの時間変化-深さ依存性の考察-
19. ○三須孝一郎 (M2), 芳原容英, 菊池博史 (電通大)
地震直前後の大気電界と下部電離層の同時観測による大気波動仮説の調査
20. ○入江俊行 (M2), 安藤芳晃 (電通大)
VLF 帯伝搬の時間変動を用いた下部電離圏電子密度推定の数値的検証
21. ○桜谷竜司 (M2), 安藤芳晃, 津田卓雄 (電通大)
太陽光散乱シミュレーションによる極中間圏雲のパラメタ抽出法の研究
22. ○王婧羽 (M1), 金子柊, 李文超, 野田洋一, 服部克巳 (千葉大)
インターステーション応答関数を用いた地殻変動に関連する磁場異常の検知法の開発
23. ○真野里奈子 (M2), 安藤芳晃 (電通大)
3次元電磁界シミュレーションを用いた地震に関する ULF 電磁放射の解析

昼 食

12 : 20-13 : 30

セッション 2 雷・気象Ⅲ
座長 鴨川仁 (静岡県大)

13 : 30 -14 : 50

24. ○Daohong Wang, Junchen Yang, Qingliu Yang, Ting Wu and Nobuyuki Takagi (Gifu Univ.)
Initiation, progression and attachment process of Hokuriku winter lightning
25. ○Ting Wu, Daohong Wang, and Nobuyuki Takagi (Gifu Univ.)
Comparison of lightning flashes in winter and summer in Hokuriku region
26. ○岩下久人 (明星電気), 小林文明 (防大地球), 諸富和臣, 嶋村重治 (日本無線), 樋口篤志,
大矢浩代, 鷹野敏明, 高村民雄 (千葉大)
気温以外の要素による POTEKA 突風予測手法の事例適用結果
27. ○岩崎博之 (群馬大)
夏期雷と冬期雷における第 1 雷撃の特徴

休 憩

14 : 50-15 : 10

ポスターセッション P3

15 : 10-16 : 40

座長 工藤剛史 (音羽電機)

28. ○榎本陸登(M1), 中田裕之 (千葉大), 細川敬祐 (電通大), 大矢浩代 (千葉大)
HF ドップラー観測と GPS 電波掩蔽観測を用いた台風に関連する電離圏擾乱の解析
29. ○八町篤弥(M1), 菊池博史, 芳原容英(電通大), 吉川栄一(JAXA), 中村佳敬(神戸高専),
森本健志(近大), 牛尾知雄(阪大)
夏季積乱雲の 3 次元観測による偏波間位相差変化率と雷放電路の関係
30. ○中村悠(M2), 和田有希(阪大), 林修吾(気象研), 牛尾知雄(阪大)
ミューオンの地上観測による雷予知手法の検討
31. ○Qingliu Yang(D2), Daohong Wang, Junchen Yang, Ting Wu and Nobuyuki Takagi (Gifu Univ.)
A detailed exmination on the preliminary breakdown process of a winter cloud-to-ground lightning flash
32. ○Ikhwanus Muhammad(D3), Takeshi Morimoto (Kindai Univ.)
Fast burning initiation through spectroscopy analysis of positive voltage compare to negative discharge
33. ○太田悠一郎(M1), 吉野千恵, 三浦健伸, 服部克巳 (千葉大), 今住則之 (日本技術士会)
波形解析によって同定した非対地雷 LF 帯電磁パルス数の時間変化の特徴について

■ 講演者へのお願いとご案内

- (1) 口頭発表1件の発表時間は20分としました。発表15分、質疑応答5分で御発表下さい。時間超過のないようご協力お願いいたします。
- (2) 当日は会場に発表用PCを用意します。Windows/Power Point で作成したファイルを各種媒体でご持参下さい（休憩時間に各自で準備してください）。
PC持込も可です（心配な方は各自のPCをご持参下さい）。
- (3) ポスター発表は、セッション当日指定の場所にポスターをお貼りください。ポスターボードのサイズは（縦 210 cm、幅 90 cm）です。ポスターセッション終了後は速やかに撤去をお願いいたします。
- (4) 大気電気学会誌原稿はホームページへアップロードして下さい。
講演者は「大気電気学会誌」の原稿（1頁ないし2頁）のワードファイルとPDFファイルをホームページへアップロードして下さい。
 1. 締切り：令和6年2月2日（金）
 2. フォーマットは学会ホームページからダウンロードしてください

■ 参加費徴収のお知らせ

以下の通り研究発表会当日、受付にて参加費を徴収します。

正会員：5,000円

学生会員：不要

非会員：一般：7,000円 学生：3,000円

賛助会員：5,000円

シニア：3,000円 ※リタイアされた会員。自己申告です。

名誉会員：不要

【お願い】 当日の受付をスムーズに行うため、参加費のお支払時にはお釣りが出ないように、予めご準備いただきますようご協力をお願いいたします。

賛助会員名簿 (五十音順)

現在までに入会されている賛助会員は下記の通りです。本会への賛助に対し、深く感謝申し上げます。本会では賛助のご好意にお応えするため、「大気電気学会誌」に広告を無料掲載することとしております。広報担当運営委員, 工藤 剛史 (音羽電機工業株式会社)
Email: journal@saej.jp、 Tel: 06-6429-5059、 Fax: 06-6429-0206)までお申し込み下さい。

宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 種子島宇宙センター
音羽電機工業株式会社
株式会社応用気象エンジニアリング
株式会社フランクリン・ジャパン
バスタ技研株式会社
明星電気株式会社